

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)修正案
1-1	P26	人的サービスの充実	学校司書の全小・中学校配置を強く希望します。現在、公立学校では先生方の業務負担が大きすぎて、図書支援にまで十分に手が回らない状況だと考えています。そのため、図書室運営は先生方の通常業務と切り離し、学校司書が単独で行うことで充実した図書事業を営むことができるかと思えます。また、昨今不登校児童・生徒の問題などがありますが、保健室登校から一段進んで「図書室登校」を行えるよう支援することや、クラスで居場所が無い児童を一時的に受け入れる場所としても、図書室の常時稼働は意義あることかと思えます。そのため、地域の一保護者としても、学校司書について児童が登校している全期間配置することを強く望んでおります。	学校図書館司書の配置については、計画案のとおり専任の学校図書館司書の配置に努めます。平成29年度は、学校図書館司書2名を小学校3校、中学校2校に配置いたします。今後、段階的に各中学校区に学校図書館司書の配置を予定しています。	無	
2-1	P14	おはなししゅっぱつしんこう!	童話館ぶつくらぶに入っています。自分の子育ての中で、絵本や本に助けられたと思います。静かに読書する時間を1日の中で作るように心がけています。世の中の流れでは、本離れが進んでいますが残念なことです。「よみかかせの会」「おすすめ絵本の紹介」(広報など)具体的な活動の継続があるといいと思います。	図書館では、子どもの読書活動を推進するためにさまざまな取組を行っていきます。各種おすすめ本リストの配布や、各図書館で開催しているおはなし会も回数を増やして開催していきます。	無	
3-1	P19	⑮	乳幼児向けおはなし会(あかちゃんおはなし会)について現在の北部(森の図書館)に加えて、中央(初石・おおたかの森方面)、南部(南流山)の市内3か所で開催してほしいです。 ながれやま葉お話部会としては、必要に応じて出来る範囲で協力したいと思います。が、次のことを要望します。 ・森の図書館のお話会を含め、市立図書館主催として会場確保とPR(ポスター・チラシの配布) ・道具類(紙芝居舞台・パネルシアター等)の会場公民館等での保管 ・会場展示用ブックセット(おすすめ絵本セット)の貸し出し ・あかちゃんおはなし会ボランティア養成講座の開催	平成29年度は、中央図書館、南流山分館、木の図書館、森の図書館、おおたかの森こども図書館で乳幼児向けおはなし会の開催が決まっております。会場確保や展示用ブックセット、ポスターやチラシの配布は可能ですが、道具類の保管場所につきましては、残念ながら御用意することは出来かねます。また、各種ボランティア養成講座に関しましては、今後の検討課題とさせていただきます。	無	
3-2	P18	⑫	障害のある子に対するサービスについて 布絵本の所蔵と利用促進についてですが、布絵本の製作にボランティアが関わられるように配慮をお願いします。布絵本製作ボランティア養成講座を開催してボランティアを育成・活用することでより多く布絵本の収集が出来るのではないかと思います。	布絵本の活用に関するボランティア活動に関しましては、前向きに検討させていただきます。	無	
3-3	P19	⑮	子育て関連施設の蔵書充実のために 市民から「図書館おすすめ本リスト」掲載の絵本の寄贈を募り、図書館で回収して各施設に整備したらどうでしょう。	寄贈していただいた絵本は、市立図書館や各施設で活用してまいります。	無	
4-1	概要 チャート P6 P24	概要チャート 6p表 24P 4段落目「人的サービス面」以降	・流山市子どもの読書活動推進計画の策定については全体の取組として評価いたします。 ・概要チャートでは「5つの重要施策」のひとつとして「3 人的サービスの充実」が挙げられており、「【学校】(14事業)」にも「学校図書館司書の配置の推進」が列挙されています。 しかし、6ページ「6 目標とする指標」の中には、人的サービスに関する指標が示されていません。かつ、24ページ4段落目においては「(前略)学校図書館司書の配置へのいっそう積極的な取組が求められます」という、努力目標的な曖昧な表現がとられています。 重要施策として取り上げる以上、学校図書館司書配置推進について具体的な数値目標を設定すべきではないかと考えます。 その理由として: 1) 学校図書館は、その管理・運営・児童生徒への働きかけをこまめに行う職員がいてこそ、本来の機能をいかすことができる。 2) 文科省が実施した「平成28年度「学校図書館の現状に関する調査」結果について」においては、全国の公立小学校の59.3%、公立中学校では57.3%で学校司書を配置している。平成24年度から国による地方財政措置が講じられているにも関わらず、流山市では予算化されておらず、人的サービス面において際立った遅れがあるといわざるを得ない。千葉県他市町村でも学校図書館司書(職員)の配置は進められてきており、柏市では学校図書館指導員が小学校は週4日以上、中学校は週3日以上配置されている。	1-1に同じ。	無	

「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)修正案
5-1			NPO法人ながれやま葉は、20年前より図書館ボランティアとして、乳幼児から小学生までを対象に「読み聞かせ」活動を続けてまいりました。今回の「流山市子どもの読書活動推進計画」の中でも、子どもの心を育てる情操教育のための「読み聞かせ」がきちんと位置づけられていると理解しています。 一方、学習指導要領が2018年から10年ぶりに改訂されることとなり、英語教育ばかりに脚光が当たっていますが、英語のみならず国語を含めた言語活動がより重視されていると聞いています。しかしながら自習や授業時間内に行っている「読み聞かせ」活動がその減額で削減されてしまうことを懸念しております。現に南流山小では昨年4月から英語のモデル校となったことを契機に、従来は授業時間内で行っていた「読み聞かせ」が朝自習に変更されました。 現在広く各小学校で行われている「読み聞かせ」活動がこれ以上削減されることのないように、ご配慮いただきたい。	本計画では、読み聞かせの大切さが計画の核をなすものと捉えております。読み聞かせや読書の大切さについて学校の取り組みの中で対応していきます。	無	
6-1	P19	「どくしょつうちょう」について	各市立図書館や市内小・中学校への「どくしょつうちょう」の配布は、今まで読んできた本をためているようで、子どもの心をつかみ、読書をさせるきっかけにもなって、大変良い考えだと思います。学校の図書室で借りた本も薄い専用のノートを作って集めることもさせれば良いと思います。	「どくしょつうちょう」は、図書館でも楽しんで使っていただいています。小・中学校にも、おすすめ本の紹介とともに、配布していきます。	無	
6-2	P19	おすすめ本のリスト配布について	各種発行物での図書館行事PRやおすすめ本のリスト配布による家庭読書の普及に関してですが、定期的ではなくとも学校等で各学年(年齢別)に向けたおすすめ本を紹介したり、子供たちに今、お気に入りの1冊のアンケートをとらせてランキングしても面白いと思います。	図書館からのおすすめ本のリストについては、小・中学校に配布していきます。	無	
7-1	P18 P21	学校との連携について	地域の図書館と学校図書室の連携がもっとあると良いと思います。学校における図書館司書(司書教諭)の配置や図書室を担当している先生の図書館への研修、先生の本への理解を深める働きかけをより増やしてほしいです。 以前やっていた移動図書館も本格的な復活は予算上、難しいのですが、学期に1度なり学校への出張図書館のようなものがあると図書館の存在が身近になるのではないのでしょうか。	図書館担当の先生への研修会や選書相談については、図書館でも開催していく予定です。 出張図書館に代え、団体貸出を活用してもらえよう十分に働きかけます。	無	
7-2	P19	検索システムの簡素化について	読書活動を推進すべく、図書館における検索システムの簡素化をお願いしたいと思います。	市立図書館は、子どもも含め使いやすい図書館システムを導入できるよう、日々の業務の中で改善点を蓄積し、次のシステム更新時に反映できるように検討しています。	無	
8-1	P6	③	私はボランティアで読み聞かせをしています。そこで思った事ですが、本が好きな子は、どんな本でも興味を持って聞いてくれますが、好きではないだろうと思われる子は見向きもしてくれません。ですが、その子の気持ちをひきつける物が登場するとちょっと聞いてみようかなという顔を向けてくれます。 P6の「目標とする指標」③の読書は好きですか?の項目 読書が苦手な子が20%位いるようですが、段階を踏んで、読書から急に進めるよりも、その子の好きな事柄や事典、図鑑などを眺めましようというところから始めてはいいのでしょうか?	読書が苦手な子も含め、子どもたちが少しでも本に親しんでもらえるように図鑑や事典などの蔵書を増やして、読書活動を推進していきます。	無	
9-1	P20	㉒・㉓・㉔	小学校職員にアンケートを実施 各小・中学校に図書館司書を配置させる。(16名) 1人ずつ常駐させる。非常勤、市職で良い。 例えば10時～14時などの昼休み中心の時間帯。	1-1に同じ。	無	
9-2	P21	㉑・㉕	小学校職員にアンケートを実施 ボランティアの充実(13名) 読み聞かせ(回数を増やす、朝学習の時間など) 図書室環境整備などをお願い致します。	ボランティアや保護者の方がおはなし会を実施している小学校が沢山あります。おたかの森こども図書館では、併設の学校へ出向いての本の紹介を実施しています。学校へのおすすめ本紹介や「どくしょつうちょう」の配布、ボランティアへのバックアップなどを進めていきます。	無	
10-1		本の紹介や読み聞かせについて	南流山中学校では、図書室の蔵書整理が終わったタイミングで「朝の読書」を1クラスずつ図書室で行っているそうです。ただ、「本を読もう」という提案だけでは子ども達の読書好きが増えるとは思えません。「本の紹介」や「読み聞かせ」をもっと積極的に行うべきだと思います。以前住んでいた船橋の小学校では、月に1度ボランティアのお母さんが子ども達に読み聞かせをしていました。我が子のクラスだけでなく、同じ絵本を読んでも学年によって反応が違っていたりして活動をしていても楽しかったです。ボランティアなので難しいテーマなどなく、お母さんが子どもに読みたい本を読んでいた。感想文を書けという子ども達も読書が楽しくなくなります。読み聞かせるだけなので本を楽しむ時間となり、読んだ後、子ども達が沢山感想を言ってくれてとても嬉しくなりました。資料を読んでいて、難しく考えすぎている気がしました。	ボランティアによる読み聞かせの実施、図書館からおすすめ本の紹介などで、読書活動を推進していきます。	無	

「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)修正案
11-1	概要 14事業 学校	中学校学校図書室の資料について	中学校で学校図書館の利用が増えているようなので、図書の充実を希望します。少しずつでも話題の図書を入れれば良いと思います。	学校図書館の本の購入については、生徒の希望を聞きながら購入していきます。	無	
12-1	概要 P10 P14	「ブックスタート関連事業」	概要や本文10、14ページ等に出てくる『ブックスタート関連事業』という言葉に違和感を覚えました。 流山市では、いわゆるNPOブックスタート事業は行われていません。ブックスタート関連事業というと、すでにそれが、おこなわれているかのように聞こえます。これから進めるのであれば『ブックスタート推進』とするべきではないでしょうか。 今後赤ちゃんに絵本を配布するほど予算が取れないなら、それはそれで乳幼児向けお話を増やすなどが大事ですが、ブックスタートという言葉のみだりに使うべきではないと思います。 現状でできる範囲で、赤ちゃんお話し会等、ボランティアとして協力、活動していきたいと思えます。	ブックスタートは、「Share books with your baby! (赤ちゃんとお絵本を楽しもう、お母さんと赤ちゃんがお絵本で遊びをわかちあおう)」という呼びかけのもとにイギリスで始まったものです。この考え方に則りいつでも、どこでも、いろいろな絵本を乳幼児と子育てに関わる人が楽しめるように計画したものが今回の事業です。そのため「ブックスタート関連事業」とし、中心となる事業が「おはなし しゅっぱつしんこう!」のブックセットの設置と乳幼児向けおはなし会の開催になります。 (ブックスタートの考え方は、千葉県教育庁 教育振興部生涯学習課社会教育振興室 社会教育施設班のホームページ等で公表されている「千葉県市町村ブックスタート事業等実施状況(平成28年度)」と同じです。)	無	
12-2	P10 P14	ブックスタート関連事業	ブックスタート事業は、読書推進の立場からの図書館だけでなく、保健センター、子ども家庭課などの子育て支援関係の協力が必要と思われる。そして地域ボランティアの更なる育成も必要になります。特に役所間の柔軟な関係性を望みます。	本計画を推進していくために、関係各課が十分に連絡を取り協力して取り組んでいくことが大切であると認識しております。	無	
13-1			別表で結構ですので通し番号と推進計画の「継続(現状維持)」「拡充」「新規」をそれぞれ明記いただけますとわかりやすいです。	ご指摘のとおり、別表を追加します。	有	別表を追加します。
13-2	P26	㉔	専任の学校図書館司書を市内全小・中学校に配置する。1人が1校を専任で担当する。(毎日勤務が望ましい) 教育委員会で学校図書館アドバイザーを1名設置し、学校図書館司書の研修や、司書教諭への授業支援のアドバイスを行う。(適任者がいらっしゃいます)	1-1に同じ。 学校図書館アドバイザーの設置は、現在のところ予定はありません。	無	
13-3	P26	㉕	教育委員会は流山市学校図書館運営マニュアルを作成する。学校はそれを参考に学校図書館の活動計画を作成し、(以下計画案本文のまま)	業務の手引き等については、現在作成中です。	無	
13-4	P26	㉖	学校は図書委員会(学習委員による代用ではなく)を設ける。図書委員は図書の貸出返却や延滞本の回収、おすすめ本の紹介や図書館だよりの発行、秋の読書週間などのイベントや新着図書展示会を司書教諭や学校図書館司書とともに企画、実施する。	市内各小・中学校に、図書委員会を設け、図書の貸出返却や読書週間などの取組について、担当教員とともに企画・実施を行っています。	無	
13-5	P26	㉗	小学校の司書教諭には低学年(特に1年生)の担任は除く。(昼休みは給食の片づけがあり図書室に来ることは不可能であるため)	職員については、学校経営上適切な配置を行っています。	無	

「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)修正案
13-6	P25	㊸ 2行目	計画的に購入する図書に、教科書に掲載された作家の作品を加えるべきと考える。	ご指摘のとおり、加筆します。	有	子どもたちが読書の楽しさを味わえるような図書や、教科書に掲載された作家の作品、学習指導要領に対応した図書を計画的に購入し、授業の質を高める図書資料の充実に努めるとともに、蔵書を常に見直し、子どもたちと教員が共に活用できる学校図書館の整備と更新に努める。
13-7	P25	㊸ 4行目	蔵書を常に見直し、蔵書点検を定期的に(年1回が望ましい)行う。データ化された蔵書や図書台帳上の図書と、書架に並ぶ蔵書が実際にあるか(不明本や紛失本がないか)調べ、傷んだ本の修理や、古い情報の本の除籍や買い直しを行い、生徒と教員が活用できる学校図書館の整備と更新に努める。(蔵書が全てデータ化されている学校図書館では、書架の蔵書の読み取りはノートPCとバーコードリーダー各3台、人員が6人いれば2日間で可能です。その後全校に不明本を呼びかけ探します。)	新刊図書購入の際には、蔵書の確認を行っています。夏季休業中を利用し、またボランティアの協力を得て、整理と更新に努めています。	無	
13-8	P25	㊸	図書のオンライン化と共に、市立図書館からの団体貸出や学校間での図書の相互貸借など図書流通システムが整えば、各校における同じ単元を学習する時期を調整することで、児童が豊富な図書資料を活用した調べ学習を行うことができる。	授業においては、市立図書館からの団体貸出を活用していきます。	無	
13-9			「学校図書館環境が整備された後の学校図書館司書の仕事内容」を参考にしてくださいを希望いたします。(別紙PDF参照)	参考にいたします。	無	
14-1			計画素案を読ませていただきました。素晴らしい内容だと思いましたが、要はそれをどのように実践していくかが問題です。保護者、ボランティアの力も借りることも大切ですが、日常の学校教育の中での活動が重要なのではないのでしょうか。ただ先生達は多忙を極めていると聞いていますので余り期待出来ません。そこで一番効果的なのは、できるだけ多くの学校に早急に司書教諭を配置することだと私は考えます。是非お願いします。教育に十分なお金をかけることがよりよい日本をつくると確信しています。	司書教諭につきましては、市内の小・中学校全校に配置されております。学校図書館司書の配置については、計画案のとおり専任の学校図書館司書の配置に努めます。平成29年度は、小学校3校、中学校2校の配置となります。今後、段階的に各中学校区に学校図書館司書の配置を予定しています。	無	
15-1	P19	㊸	「子ども司書養成講座」の開講を希望します。以前に実施されたと思いますが、本好きの子が「本っていいよ！」を仲間に伝える手助けとなり、司書の仕事の一端に触れて市立図書館、学校図書館がより身近なものになる貴重な機会だと思います。受講生から派生するより良い学校図書委員会活動への変化や図書館で知りたい事、疑問に思った事を調べる事のおもしろさに気付いたらどんなに良いかと思えます	子どもたちに図書館を身近なものにさせる「子ども司書養成講座」の開講につきましては検討します。	無	
15-2	P19	㊸	「ブックスタート」の実施をお願いいたします。すでに多くの自治体で行われておりますが、その支持されるわけの一つは地域社会が赤ちゃんとお母さんへ掛ける優しい心だと思います。単に赤ちゃん絵本との橋渡しのみならず、司書さん、保健師さん、ボランティアさんなどからの声掛けにより自分たちは見守られていることを実感し、穏やかな気持ちと育児への自信が増してそれが赤ちゃんに伝わることの大きさを感じます。	流山市では、「おはなし しゅっぱつしんこう！」をブックスタート関連事業として実施していきます。ブックリストの配布、乳幼児向けおはなし会の実施拡充、市立図書館の乳幼児向けブックコーナー整備、子育て関連施設へのブックセットの設置、絵本の読み聞かせ講座の実施を通して、いつでも、どこでも、いろいろな絵本に乳幼児と子育てに関わる人が親しめるよう、連携をしていきます。	無	
15-3	P20	㊸㊹	地域社会の環境や文化の力向上のためには、これからボランティア活用はより広がり深まる流れだと思います。人的パワーは市民一人一人の思いに依るところ大です。シニア世代や子育てひと段落世代など色々な人が、どこになにが必要とされ、納得して力を発揮できるのは何かを考えておられます。	ボランティアの活動は本計画を推進していく上で、欠かせないものと考えています。	無	

「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)修正案
15-4	P21	㉓	ボランティア活動特に読書推進活動を支えるものとして「流山市子どもの読書推進の会」の存在は大切だと思います。「ボランティア交流会」「子ども読書まつり」は今や定着し、会員団体の継続的なボランティアの募集、勉強会への良い契機となり、団体相互の情報交換や連携を意識できる貴重な場と考えます。今後も加入団体が増え、レベルアップ講座やお互いを高め合う研修の場となりますように！同会は今資金難に直面しています。何らかの財政支援を期待します。	市民活動団体に対しては、市民活動推進センターにおいて活動のためのアドバイスや各種講座を行っているほか、団体登録をすることで、会議室を利用することができます。また、市民活動団体が自発的に行う公益事業を対象とした補助金制度があります。	無	
15-5			市立図書館さんには今までボランティア活動の推進を機会あるごとに支えていただいたこと、感謝申し上げます。ボランティア活動にあたっては活動を支える各種用具、備品があり、現在中央図書館、森の図書館にてこれらの一部を置かせていただいております。これから活動の広がる南流山センターや公民館でもどうぞ同様のご配慮をお願いいたします。	南流山センターや公民館、また図書館分館においても、そのようなスペースがないため場所の提供はできかねます。	無	
16-1	P7	一番下の例	P7の1番下の例、標準蔵書冊数について 中学校で15学級の場合、10,720冊とありますが、12,160冊の間違いでは？	12,160冊に修正します。	有	例) 中学校で15学級の場合…12,160冊
16-2		全体的に	全体的に、どれが現状・継続でどれが新規なのかわかりにくいのでその辺を明確に書いて欲しい。「おはなし しゅっぱつしんこう！」の書き方は、分かりやすいと思います。	13-1に同じ。	有	別表を追加します。
16-3	P9	読書活動の啓発・普及	ぜひブックスタートを実行してほしい。近隣で実行してないのは、我孫子と流山市のみ。千葉県の中でも数市しかありません。「母になるなら流山(子育てするなら流山)」と謳っているならブックスタートを始めるべき。ブックリストを作るだけでは本に馴染まない若いお母さんは、何を選んでいいかわかりません。	15-2に同じ。	無	
16-4	P19 P20	⑲・㉓	中・高校生向けの図書の幅広い収集に努めるだけでなく、司書の適切な配置や専門機関の研修を行っていただきたい。折角ヤングアダルトコーナーができていても、間違った本の置き方がしてあつては意味がありません。中学の課題図書でさえ児童書コーナーに入っているようではもったいないです。いつも古い本ばかり並んでいます。これでは中高生は行きません。図書館に来なければ読書普及と謳っても意味がないと思います。またラノベとまでは言わなくても今中高生に人気な本をどんどん入れて欲しい(今YA向けの新しい本がたくさん出ています)。他県のYAコーナーも見て勉強してほしい。	司書の適切な配置には、市としても取り組んでまいります。今後もティーンズ(ヤングアダルト)サービスに関する研修に積極的に参加し、情報収集を行っていきます。また、多種多様な中・高校生のニーズに応えられるような資料の充実にも努め、より一層ティーンズコーナーの充実を図っていきます。	無	
16-5	P26	㉔	専任の学校図書館司書をぜひ全校に置いて欲しい。司書教諭はいるとは思いますが、流山市は近隣に比べ専任の司書を置くのがとても遅れていると思います。司書教諭だけではとても時間が足りなく、調べ学習、読書の普及等言うのであれば、司書を置くことが必須です。また日にちも週1などではなく、多くあることを望みます。いま全国的にも学校図書館の重要性が問われています。専門知識のある指導員をぜひ入れていただきたい。	1-1に同じ。	無	
16-6	P26	㉕・㉖	市として学校図書館アドバイザーを設置し、学校間の横の連携を図るため、定期的に情報交換や研修の場、またアドバイスの場を作る。	学校図書館アドバイザーの設置は、現在予定はありません。	無	
16-7	P26	㉕・㉖	学校図書館運営マニュアルを作る。学校図書館の活動計画は、それを基に作成する。	13-3に同じ。	無	
16-8	P26	㉕・㉖	図書委員会を設け、生徒も一緒に図書館イベントに積極的に参加するよう指導する。本の貸し出しも図書委員が行う。 (図書委員もない学校があると聞きました。折角蔵書冊数が標準に達していても図書館が使われていなくて意味がありません。)	13-4に同じ。	無	
16-9	P25	㉗	横の連携としてぜひやってほしいです。巡回の学校への団体貸出し便も定期的に行って欲しい。	団体貸出については、学校から連絡があり次第、付近の図書館で資料を受け取れるようにしております。ファックスでの申込様式を各学校に通知し、より利用しやすい方法を試行しています。	無	
17-1	P26	㉘・㉙	H28年8月15日の市議会だよりに、学校司書をモデル校として小学校・中学校各1校に配置したとありました。 モデル校選定はどのように行われたのでしょうか？	平成28年度のモデル校としては、位置的に小・中学校の連携が取りやすいことから選定しました。	無	

「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)修正案
17-2	P26	④③・④④	3 学校における子供の読書活動推進の中で、 ④③・④④ 人的サービスの充実の中で、学校図書館司書の配置に努めるとありますが、努力はするが、実現は難しいとも取れます。 近隣の自治体を見ても、流山だけ学校図書館に司書がおらず遅れていると感じます。 「子育てするなら流山」と銘打っているのであれば、もう少し学校図書館に力を入れてはいかがなものでしょうか？ ニュースや新聞でも、読書が学習能力の向上や健全な心を育てていくのに必要不可欠とされています。	1-1に同じ。	無	
18-1	P1	本計画全般  1行目	本推進計画は素晴らしい取り組みだと思います。是非推進して下さい。市民として、市が進める様々な取り組みに積極的に参加し、是非協力したいと感じました。中央図書館や南流山センター分館、森の図書館等を小学生の子どもと利用していますが、司書や職員の皆様の工夫や配慮が随所に感じられ、子育て世代が家族で読書に親しめる環境が形成されていると思います。赤ちゃん連れでも利用し易く、実際に私自身、育児休業中は子どもを抱っこして図書館に通うのが日課でした。子どもに読み聞かせるだけでなく、自分も本を読むことでゆとりが生まれ、慣れない子育ての息抜きになりました。本計画は、このような環境を更に推進させるものであり、市民として大いに評価します。しかしながら、文章の一部に矛盾を感じる内容がありました。また、解り難い部分もありましたので、下記にコメントさせて頂きます。コメントはそれぞれ別の内容ですので、全てまとめてではなく、コメント毎に回答頂けると分かりやすいです。どうぞよろしくお願い申し上げます。  「読書などを通して」→「読書を通して」と修正すべきと思います。 本計画は読書活動の推進に関するものですので、読書で得られる利益の説明を行うべきであり「など」と他の行為に言及する必要を感じません。 もちろん、言葉を学ぶのは読書だけではありませんが、この文章で「など」が無くて、読書だけを通して言葉を学ぶと限定するものではないでしょう。曖昧な表現であり修正すべきと思います。	ご指摘のとおり、言葉を覚えるのは読書だけではありません。本計画でも読書の他に、読書をすすめるための活動として、おはなし会やわらべうたなども実施していることから、あえて「読書など」という表現にしました。	無	
18-2	P1	2行目	「より深く」→「より豊かに」と修正すべきです。 深く生きるとはどのような生き方か、良く分かりません。文意から「豊かに」という表現が適切ではないかと思いました。	ご指摘のとおり、該当箇所を修正します。	有	「より深く」を「より豊かに」と修正します。
18-3	P1	5～8行目	「子どもが～活力の源です」とそれ以下の「子どもは～手段を知るのです」が結びつかず、意味がわかりません。後述の部分で述べられている世界観、思いやりの心やボキャブラリー、自分を表現する手段を知ることは、自分を知ること、つまり自我の確立に役立つのではないのでしょうか。生きる活力(生きるエネルギー？生きるモチベーション？)とは関係ありません。そもそも「生きる活力」というものが何を指しているのか意味が良く分かりません。この部分を含め、「はじめに」には解り難い表現が多々見受けられると思いました。	「子どもは読書を通して、自分の身近な場所以外の世界を知り、人の心を思いやることを知り、ふさわしい言葉を覚えることで自分を表現する手段を知るのです」とは、読書によって自分以外の世界や心の機微を知り、物語の登場人物に寄り添うことで相手の心を思いやることを知り、様々な表現にふれることでふさわしい言葉を覚え、自己表現が豊かになるということを意味しています。そしてこの文章で意味すること全てが、子どもたちが未来をたくましく生きていくための力になると考え、「子どもが未来をたくましく切り開くための活力の源です。」という文章にしました。	無	

「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)修正案
18-4	P1	8～19行目	「はじめに」では本計画制定の背景や理由が述べられるべきですが、国や県が、市に具体的に何を求めているのかの説明がありません。本計画制定の背景となりますから、簡単でも構いませんので「はじめに」で説明が必要と思います。	ご指摘のとおり、該当箇所を修正します。	有	千葉県は、国の推進計画に基づいて平成15年3月に「千葉県子どもの読書活動推進計画」の第一次計画を策定し、その後の国の動向や計画の成果と課題を踏まえ、平成22年3月には第二次計画、平成27年3月には第三次計画を策定しました。このように、国や県では「子どもの読書活動の推進に関する法律」第八条、第九条に基づき、子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画の策定・実施を行ってきました。同法第九条第2項では、市町村は子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画を策定するよう努めなければならないとしています。
18-5	P1	下から7行目	キーワード→スローガン(ビジョン?) 「母になるなら、流山市。」は文ですから、キーワードは間違いでは?	ご指摘のとおり、該当箇所を修正します。	有	現在、流山市はつくばエクスプレスの開通に伴い、都心まで約20分という環境にあり、「都心から一番近い森のまち」として子育て世代を中心に人口が増加しています。市では、子育ての支援や教育環境の充実に力を入れており、市の7館目の図書館として、「おおたかの森小・中学校」内に児童書と子育て関連の本を集めた「おおたかの森こども図書館」を平成27年4月に開館しました。
18-6	P1		上記のコメントとは異なる内容です。個別に回答をお願いします。「母になるなら、流山市。」というキーワード(?)について、本計画で言及することに違和感があります。どのような家族でも読書活動を推進させる趣旨ですので、保護者の説明は不要です。家族の在り様は多様ですが、どのような家族環境でも(いつでも、どこでも)子どもが読書する機会是与えられるべきであり、本計画はそのような理念に基づいたものと理解しています。「母になるなら流山市。」は子育て世代の誘致には良いスローガンと評価していますが、本計画には不適切と思います。あえて「母」と限定することに違和感がありますので、子育て支援の充実の説明だけで十分です。「母」という表現はあくまでイメージだとしても本計画には不適切です。	ご指摘のとおり、該当箇所を修正します。	有	18-5に同じ。

「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)修正案
18-7	P1	下から2行目から1行目	「読書離れ」が著しく久しいとされ、その影響が懸念される。「本市においても例外ではない」は何を根拠としてそのように主張されているのか分かりません。根拠の出典を明記すべきではないでしょうか？	文部科学省によれば、平成14年の社団法人全国学校図書館協議会による調査や、平成12年の経済協力開発機構（OECD）生徒の学習到達度調査等より、子どもの読書離れの傾向があると指摘しています。流山市でも当計画の策定に際して行った市内各小・中・高等学校、保育所（園）、幼稚園、児童センター、学童クラブへのアンケート調査や、図書館統計から、市内における子どもの読書離れの状況を確認しました。	無	
18-8	P1	下9～3行目	上記のコメントとは別ですので、個別の回答を希望します。「はじめに」では「子ども時代は行動範囲が限られる」としており、本計画制定の理由に位置付けております。しかしながら、流山市では「おおたかの森こども図書館」を作ったことを「はじめに」でことさらアピールし、さらに本文中でも多くのページを割いて主張しています。この論旨に大きな矛盾を感じました。行動範囲が限られる子どものためには、子どもが確実にアクセスできる学校図書館の充実やアクセスできる可能性が高い市内に点在する各図書館や分館の充実が必要です。おおたかの森から離れた地域に居住する子どもにとって、こども図書館は行動範囲外ですので、利用できません。市内の何パーセントの子どもが「おおたかの森こども図書館」を自ら利用できるとお考えなのでしょう。実際、南流山に居住する私の子どもは自ら利用することは困難です。こども図書館の設置は、行動範囲が限られる子どもが、いつでもどこでも読書活動ができるようにするという目標には、直接役立ちません。「はじめに」では「おおたかの森」や「こども図書館」のみが、ことさらアピールされており、不適切です。実際、市では「おおたかの森こども図書館」だけではなく、学校図書館や各図書館、分館の充実にも力を入れていると思います。ですから「はじめに」では「おおたかの森こども図書館」だけではなく、他の図書館のことにも言及すべきです。現在の文章では「母になるなら、流山市。」ではなく、「母になるなら、おおたかの森。」ではないかという疑念さえ抱いてしまいます。本計画では「こども図書館」とおおたかの森地区周辺に重点が置かれすぎており、不平等を感じます。「おおたかの森こども図書館」は恩恵を受けている子どもがおりますから、設置に反対するものではありません。市民として設置は素晴らしいと思いますが、この「はじめに」の文章のような「こども図書館」のみを一押しとすることはまずいと思います。流山市の子どもが等しく恩恵を享受できるよう表現を改めるべきと感じました。修正案として、1ページ目下3行目「読書に親しんでいます」の後に、学校図書館や各図書館、分館での取り組みや充実させた実績の説明を簡潔に補記することを提案します。	ご指摘のとおり、該当箇所を修正します。	有	流山市では、これまでも、市内小・中学校での朝の読書の推進、読み聞かせ、学校図書館の資料の充実、ボランティアによる蔵書整理などを行ってきました。また、市立図書館（中央図書館・森の図書館・木の図書館・南流山分館）での定期的なおはなし会やイベントの開催、全館に児童書の積極的な購入や子ども向け電子書籍の導入などの事業を実施し、子どもの読書環境の充実に努めてきました。
18-9	P11		「2. 市立図書館におけるこどもの読書活動の推進」について、素晴らしい取り組みと思います。是非推進してください。特に、おはなし会や「読書まつり」などは継続的に実施されており、成果は職員やボランティアの方々の努力の賜物であると市民として感謝いたしております。また、ティーンズコーナーも良い取り組みと思います。大人ですが、面白そうな本があり、ついつい手に取ってしまいます。中央図書館の入り口右側、博物館の受付前にある郷土や博物館コーナー(?)にも興味深い本がたくさんあります。南流山センターの分館入口付近の昔言葉・地名クイズ(?)も子どもが楽しんでいる様子が良く見られます。このような司書や図書館および博物館職員の方々の工夫や配慮は素晴らしいと思います。このような活動が継続して実施されるように、市民として、市に図書館と博物館に十分な数の職員配置と予算措置が継続して配分されることを強く希望します。	必要な職員配置と予算確保に努めていきます。	無	
18-10	P24	20行目	「3 学校における子どもの読書活動の推進」について、「学校図書館図書標準に達していない学校もあるため、これらの学校に予算配当しているが、達成できていない」と説明されています。なぜ達成できていないのか理由を教えてください。また、今後、具体的にどのような対策を行うのか、何年までに達成するのかも教えてください。この文章では、「市は予算を配分したのに、学校がやっていない」と受け取れますが、正しいでしょうか。予算が配分されているのに達成できないのは、極めて深刻であり心配しております。増加する児童数の予測が難しいからなのかかもしれませんが、達成できていないことを簡単に書きすぎているとも感じます。市内の子供がいつでもどこでも読書活動を行うためには、「おおたかの森こども図書館」を建設する前に、学校図書館の充実が喫緊の課題でしょう。最も重要なことが達成できていないのに、第三者的な書きっぷりで簡単に書きすぎていると思います。本件、極めて深刻で重要なことですが、市は軽く考えているのではないかと危惧しています。	主な達成できない小・中学校については、新設校であり又、児童・生徒が急増している状態です。これらに対応するため、併設のおおたかの森こども図書館から団体貸出を活用するなど対応しています。何年までに達成するのかについては、予測が困難な状態です。	無	



「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)修正案
18-11	P26	下から9行目、「人的サービスの充実」	学校図書館運営の専門職員配置を強く希望します。「配置に努める」と述べられていますが、これまでも努めてきたと思いますので、また「努める」だけでなく、一歩進んだ表現に改めて頂きたいと感じます。「本当に取り組むぞ!」という決意が伝わってきません。市では、学校図書室がどの程度、開室されているか把握していますか。図書室があっても開室しておらず、限られた時間しか利用できないのでは意味がありません。最低限、放課後は「いつでも」利用できるように専門職員を配置すべきです。決して学校の教員の負担とならないように配慮頂いた上で、学校図書館を最大限活用するために専門職員の配置を強く希望します。26ページでは「努める」という努力ではなく、「選任の学校図書館司書を配置する」のように表現を改めて頂きたいと思います。	1-1に同じ。	無	
18-12	P15	下から1行目	図書館と学校図書室との連携は、なにも「おおたかの森こども図書館」のみに限定されるものではないと思います。また、特に「おおたかの森こども図書館」に求められるものでもありません。本記述は不要かと思えます。隣接していなくとも図書館と学校図書室との連携は、「おおたかの森こども図書館-おおたかの森小学校」と同等の水準で実施して下さい。	市立図書館と全学校図書館との連携を実施していきます。	有	また、「おおたかの森小・中学校」の学校図書館と隣接した位置にあり、学校図書館との連携が取りやすい環境にあります。
19-1	P26	㊸	学校図書館司書の配置を市内全小・中学校に広げてほしい。柏市などは既に配置されているのに流山は遅れている。	1-1に同じ。	無	
19-2	P25 P26	㊸・㊹	インターネット環境の整備を進めて、学校にある本の検索がインターネットでできるようにしてほしい。学校ボランティアで読書(読み聞かせ)をしているが、学校にしかない良い本を読んであげたいが学校に行かなければならないので不便。	現在学校図書館の本はインターネット検索が出来ません。市立図書館ではインターネット検索が出来ますので、こちらをご活用ください。	無	
20-1	P26	㊸	子どもの読書を推進したいので図書室司書と読書のすすめの指導をしてくださる方を配置してもらいたいです。是非よろしくお願いします。	1-1に同じ。	無	
21-1	P26	㊸	学校図書館司書の全校配置。	1-1に同じ。	無	
22-1	P26	㊸	小・中学校に学校図書館司書を配置。各学校に1名常駐を希望します。	1-1に同じ。	無	
23-1	P26	㊸	学校図書館司書の全校配置の推進を希望します。	1-1に同じ。	無	
24-1	P26	㊸	小・中学校1名の学校図書館司書の常駐。	1-1に同じ。	無	
24-2	P25	㊺	学校図書室・本の衛生の向上	学校図書館の環境整備に努めます。	無	
25-1	P26	㊸	学校図書館司書の全校配置の推進を希望します。	1-1に同じ。	無	

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)修正案
26-1	P25	㉓	2年前より、流山市の小学校で図書室整備と読み聞かせのボランティアをさせて頂いております。日頃から小学校の図書室の出入りをさせて頂いていますが、我が子の学校が歴史が古いので(私の母校でもあります)本も古い物も多く、人気のある本はページも抜けてしまい、お話が分からなくなってしまったり、古すぎたり、読まれ過ぎたりして、本がガタガタになっていたり、子供が読みにくいと嘆いております。4年前に代表がその状況の打開の為に、図書室ボランティアの活動を始め、本の修繕、整理に当たったり、おすすめ本の活動をしてきましたが、根本的に、図書室にある本をもっと魅力的に子供達が手に取りたくするような本にもう少し入れ替えて頂けないかと思えます。物を大切にすることは良いことですが、度を越しているものが多いです。 読んでいる途中のページが無かったり、今にもページが取れてしまいそうな本では興味を削がれてしまいますし、古い内容の資料が並んでいても、子供達が興味を沸くでしょうか!?また素敵な絵本なのに、色があせてしまったり素敵さが伝わりきれないというものもあります。 古い学校の本は、古いままなのは仕方が無いことなのでしょうか!?専門家に流山市の小学校の図書室の状況をチェックして頂き、改善が必要な学校には改善をし学校によっての差を無くすよう善処を希望致します。どうぞよろしくお願い致します。	学校図書館の資料整備につきましては、「目標とする指標」で提示していますとおり、計画的な購入と本の刷新を今後5年間で行っていきます。また、主な事業で提示しましたとおり、学校図書館の整備と更新に努めていきます。	無	
27-1	P26	㉔・㉕	専任の学校図書館司書の早期の全校配置を切に望みます。25ページ㉓、㉔、㉕、㉖、㉗、㉘、㉙、㉚、㉛、㉜、㉝、㉞、㉟を円滑に進めるためには、図書館司書の存在は欠かせないと思えます。司書教諭、図書主任は担任や教科指導などで、学校図書館運営は努力はされても時間が足りないと思う。調べ学習も安易にインターネットに頼るのではなく、図書館の利用ももっと欲しい。生徒が高校生、大学生になって困らないように、基礎を身に付けてほしい。それには司書が必要です。早期の全校配置は義務教育における学校図書館格差を少しでもなくして欲しいからです。それには学校図書館運営に詳しい指導員を外部から招いてほしい。 図書館の蔵書は図書標準を達成することも大事かも知れないが、もっと本を手に取りやすく資料もあまりにも古く廃棄基準に達しているものは、冊数が足りないからと廃棄できないのはおかしいと思う。蔵書がもっと活用されるよう整理してほしい。やはり司書を配置することで、少しは改善すると思う。	1-1に同じ。	無	
28-1	P24	17行目～18行目	「蔵書冊数は(中略)達成しています。」について、各校に「バーコードを添付した(データベース化した)のは何冊か」問い合わせしてみたいかでしょうか。紙の台帳ではなく、実際に活用されている図書数の実態を掴んでおくべきと考えます。	調査を行う際、データベース化された資料数について把握していきます。	無	
28-2	P25	㉖・㉗	情報リテラシー時代を生きる子どもたちには、インターネットや様々なメディアでの情報収集や分析は大切なことです。柏市のように、教育委員会で一括したポブラディアネットの契約と全校への提供をお願いできたらと思います。またパソコンを図書館内に設置する、あるいは図書館とパソコン室を隣同士に置くことも重要ではないでしょうか。	今後の参考といたします。	無	
28-3	P25	㉘	柏市ではネットワークが完備しており、調べ学習や読書会に必要な40冊が呼びかけてほぼ3日で揃います。デリバリーも巡回トラックが行うため、司書教諭や図書館指導員の負担がとて小さくなっています。 *勤務校の学校図書館のパソコンはOSがXP、IEのバージョンも低く、流山市立図書館へのアクセスすらできません。	学校図書館のパソコンについては、今後の検討課題といたします。	無	
28-4	P25	㉙	読書環境の整備だけでなく、学習指導要領の変更など、教育に関して大きな動きがあった際には、その都度研修をおこなうべきと考えます。	今後研修会を開催する際の参考といたします。	無	
28-5	P25	㉚	事業主体に「ボランティア」は欠かせないと考えます。	事業主体に「ボランティア」を追加します。	有	「ボランティア」追加
28-6	P26	㉛・㉜・㉝	司書教諭は、本来全学年・全教科について内容と学習の時期を把握し、それに沿ったサービスを行わねばなりません。実務は学校図書館司書(以下司書)が担うこととなりますが、2者の連携のためには、司書が毎日、学校が始まってから終わるまで在校することが最低条件です。 年間計画があれば、それに沿って早めに動けます。が、週1日、5時間の勤務で、いつ打ち合わせをすれば良いのでしょうか。	学校等との連携を密にし、対応して頂きたいと考えます。	無	

「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)修正案
28-7	P26	㊸	<p>・優秀な人材は市内にもいますが、東京や柏市などの勤務に関することが充実した地域で働いています。若く、熱意の有る人材を確保するためにもある程度の報酬は必要ではないでしょうか。勤務日数は、この点においても重要だと考えます。</p> <p>・司書は学習指導要領を理解している必要があります。退職される(あるいは退職した)司書教諭に、司書として再度勤務していただくのはいかがでしょうか。</p> <p>・1校1人の体制を一刻も早く実現していただけたらと思います。複数校の教員の名前を覚えるだけでも大変で、読書があまり好きではない目立たない生徒など本来手をかけたい子どもの名前などなかなか覚えられません。</p>	1-1に同じ。	無	
28-8	P26	㊹	<p>団体貸出など、市立図書館には大変お世話になっています。図書購入のアドバイスなどをいただけたら大変助かります。</p>	適宜アドバイスします。	無	
28-9			<p>* 市内の小学校・中学校に学校図書館司書として1年弱、勤務しました。勤務開始が年度途中だったためか、オリエンテーションも全学年にはできませんでした。年間計画策定の重要性を感じます。</p> <p>先生から「調べ学習用にこのような図書が欲しい」というご依頼をいただき、市立図書館のご協力もあって生徒1人に1冊揃えることができましたが、私の勤務が1週間に1日であるため、打ち合わせ、揃えて運び入れる、などが学習のスタートに間に合わないこともありました。居てほしいときに居ない司書は居ないも同様に役に立ちません。せめて週に2日、できれば3日は勤務したいと切実に思います。</p> <p>学校図書館、司書の使い方をご存知でない先生方も多いように感じます。先生方への研修は柏市でも行っています(初任者研修および1年経験者研修)。流山でもぜひお願いしたいと思います。</p>	<p>学校図書館司書の勤務日数については、市内全小・中学校に学校図書館司書を配置後の検討課題とさせていただきます。また、市立図書館で、学校図書館担当者向け研修会を開催します。</p>	無	
29-1			<p>子どもの小学校で、読み聞かせと図書室の整備のボランティアをさせていただいています。</p> <p>今、流山市は人口も増え喜ばしいことに子どもの数も増えています。</p> <p>ただし、クラス数の増加により教室が足りないなどの問題も起きています。そのための整備もあり、図書だけに予算を使うのは厳しいかと思いますが、子どものためにも、もう少し図書関連に予算を割いて頂けたらいいのではと思います。</p> <p>計画にもありますが、一刻も早く司書を全校に配置して頂きたいと思っています。</p> <p>毎日来られなくても、二校担当して交互に学校に入るなどでも構いませんが、早く司書を配置して頂きたいと思っています。</p> <p>私もボランティアで活動させて頂いていますが、結局は素人なので、行き詰ることもしばしばあります。</p> <p>ぜひ経験のある方に入って頂き、きちんとした学校図書のあり方を示して頂き、ボランティアでお手伝い出来ることは、していきたいと思っています。</p>	<p>26-1に同じ。</p> <p>学校図書館司書については、1-1に同じ。</p>	無	
29-2			<p>また、我が子の学校は伝統のある学校ではあるのですが、なにぶん空き教室を図書室としているため、新しい物もありますが、本も本棚も古く狭くて使い勝手が悪いのではないかと思います。</p> <p>かたや、最新設備で新しい本に囲まれた学校もあり、格差が生じていると思います。</p> <p>生徒数も増えて蔵書も増やさなくてはならないはずなのに、狭くて今後どうするのだろうか心配になります。</p> <p>今後も生徒数は、増えていくと思いますので、格差がないよう別棟を建設したり、一部増設するなどして、全校にきちんとした図書室を作って頂きたいと願っております。</p> <p>千葉県は、確か読書に力を入れていたと思いますので、ぜひそちらの方でも流山市は特に読書活動や学校図書室が素晴らしいといわれるようになって頂きたいと思います。</p> <p>ぜひ、よろしくお願い致します。</p>	<p>26-1に同じ。</p> <p>別棟建設の予定は現在のところありません。</p>	無	
30-1			<p>・絵本が好きで、1才2カ月の子どもと利用します。もう少し図書館が大きいといいかと思っています。これからファミリーが増えてくる割には、小さいような。明るくて、きれいなほうがよい。</p>	<p>今後も皆様に気持ちよくご利用いただけるよう、図書館内の環境整備について、努力してまいります。</p>	無	

「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)修正案
30-2			・絵本や紙芝居などもっとたくさんの子どもがふれられるよう、読み聞かせの場をたくさん用意することで、絵本に興味のない子どもや、どの本を読んだらよいか経験がわからない親でも、入りやすくなると思う。 (もっと回数を多くしたり、イベントをしたりなど)	「おはなし しゅっぱつしんこう！」では、乳幼児向けおはなし会の実施の拡充や乳幼児向けおすすめ本ブックリストの配布など、乳幼児と子育てに関わる人がいつでも、どこでも、いろいろな絵本を楽しめるような事業の実施を予定しております。また、各図書館でのおはなし会やイベントも継続して行っています。	無	
30-3			・幼稚園・小学生などの読書感想文のコンクールをしたり、絵本や紙芝居の読みきかせコンクールなど開催することで、市を盛り上げてみてはどうか。	今後、前向きに検討します。	無	
30-4			・図書館が遠く通えない人のために、移動タイプの図書館や、空きスペースを利用して図書館にするとかもっと身近にあれば行きたいと思う人もいるのではないか。	市内には各地域に分館を含め7つの図書館が整備されています。またインターネットによる蔵書検索や、貸出予約などが可能な情報提供サービスもご利用いただけます。さらに、各子育て関連施設に乳幼児向けブックセットの設置を進めてまいります。	無	
31-1			中央図書館について ・エレベーターを利用できるというのを知らない人が多く断念している人もいた。 ・エレベーターは使用していいと言うけれど、実際は使いにくいので、1Fをフロント・子供・絵本などにしてみたらどうか。 ・子供がうるさくするのが気になって行きにくい。受付近くにある雑誌コーナーなどを通っていやな顔をされるので、新聞・雑誌のレイアウトを変えたらどうか。	坂の中ほどでの掲示にてエレベーターの使用周知を行っておりますが、掲示箇所を増やす等改善していきます。エレベーターを御使用いただければ、2階で降りてすぐ右手に児童室があり雑誌コーナーを通らず御利用いただけます。雑誌コーナーについては、雑誌の切り抜き防止等のためカウンター前に配置しておりますので、ご了承ください。	無	
32-1	P26	④	・各図書館に司書がいたほうが良いと思う。	1-1に同じ。	無	
32-2	P18 P19	⑬・⑮～⑰	・各図書館に小さい子・小学生が来くなるような、読みたくなるような工夫がほしい。イベント、飲食もできるスペース、本のおき方など	各図書館でのおはなし会拡充や子ども向けのイベントの開催を進めてまいります。館内の読書環境の整備にも努めます。	無	
33-1			学校で図書の修理や整頓をしていますが、司書もおらず、図書は古い物が多く、これでは子供達に十分な読書をさせられないと思います。全面的に学校図書の現状を把握し改善すべき点をあげ、早急に対応するべきだと思います。	1-1に同じ。	無	
34-1			各小・中学校に図書館司書を配置してほしい	1-1に同じ。	無	
35-1			学校図書館司書の配置の推進	1-1に同じ。	無	
36-1			各学校に図書館司書を配置してもらいたいです。北部地区をお願いします。	1-1に同じ。	無	
36-2			江戸川台小学校の図書整備に是非PTAの力も地域の力と一緒に盛り上げたいです。校長・教頭先生のご理解を。	15-3に同じ。	無	
37-1			図書館司書の常設。(北部中学校)	1-1に同じ。	無	
38-1			学校図書館司書の配置の推進	1-1に同じ。	無	
38-2			保護者や地域ボランティアとの連携による蔵書整理や読み聞かせ活動の推進 北部地区、江戸川台小学校に特に希望します。	36-2に同じ。	無	

「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)修正案
39-1			学校図書館司書の配置の推進 ・小学校や中学校に図書館司書を配置して欲しいです。	1-1に同じ。	無	
39-2			また江戸川台小学校に地域ボランティアとの連携による蔵書整理や読み聞かせ活動の推進を推し進めて欲しいです。	36-2に同じ。	無	
40-1			・市内全小・中学校に図書館司書の配置を希望します。少し興味を抱いて図書室に来てくれた児童が、もっとも本や読書に興味深くなるためには、司書の存在が大きいと思います。	1-1に同じ。	無	
40-2			・現在ブックスタート事業として、赤ちゃん対象の対策が充実していて良い事だと思いますが、NPOや各ボランティアも活動が盛んに思っています。やはり、その上の学童期の対策に、より力を入れてみた方が良いとも思います。	各図書館でのおはなし会拡充や子ども向けのイベントの開催を進めてまいります。	無	
40-3			・各ボランティアへ市の協力が多くなれば良いと感じます。	連携を多くしていきたいと考えます。	無	
41-1			調べ学習の推進(学校司書) ・学校図書館の役割は、読書だけでなく、図書館を使った授業、授業に役立つ資料の提供ということもあります。そのためには、授業、先生、生徒の間に、学校司書の存在が重要になってくると思います。 ・学校司書は、教員と協力して、授業に必要な資料をそろえたり、生徒に資料の探し方を指導したり、教員、先生に使いやすい環境づくりをしたり、図書館を十分に活用させるために必要な人材です。是非配置をお願いします。	1-1に同じ。	無	
41-2			・学校司書以外にも、各校に保護者やボランティアを募集して下さい。	学校図書館に関わるボランティアの活動を推進していきます。	無	
42-1	学校<14事業> 学校図書館司書の推進について		ぜひ各学校の図書室に司書の配置を希望します。	1-1に同じ。	無	
43-1	学校<14事業>		図書室の本の整理が行き届ききらず子供にとって魅力的な空間になっているのか、と感じます。 本を身近に感じるきっかけとなる場所にするためにも、図書室に司書を配置し整理や、子供たちへの本との接点を作るきっかけを設けていただくことを希望します。	1-1に同じ。	無	
44-1	学校図書館について		・子供の読書環境を整備・充実させるために、学校図書館司書の配置を強く希望します。	1-1に同じ。	無	
44-2			・学校の図書館をいかに充実されるかが大変重要と感じます。	蔵書を常に見直し、整備と更新に努めます。	無	
45-1	学校<14事業>		学校図書館司書の配置をお願いします。	1-1に同じ。	無	
46-1	学校<14事業>		子供たちがもっと本に興味をもつためにも、いろいろな本の情報なり探し方などを、専門的に教えて下さる、学校図書館司書を置いて頂きたいと思ひます。	1-1に同じ。	無	
47-1	学校に対する施策14事業について		各図書室に司書の設置をお願いします。	1-1に同じ。	無	

「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	「流山市子どもの読書活動推進計画」(案)修正案
48-1		学校図書館について (14事業)	おおたかの森図書館や森の図書館は他市に比べても充実しているのに、学校図書館が汚かったり雑然としている所に驚きました。子供が本に興味をもったり楽しむためには、心地よい図書館が必要だと思います。いつも決まった方がいて、アドバイスしてくれる司書の設置を希望します。	1-1に同じ。	無	
48-2		学校図書館について (14事業)	英語の本も入れてほしいと思います。	11-1に同じ。	無	
49-1			〈学校図書館司書の配置の推進〉を強く希望します。私は新川小学校で15年間読み聞かせ活動を続けながら、図書室の整備にも係わって来ました。本の整備については、大きく前進しましたが、やはり、そこに「人」が居なければ子ども達への働きかけは無理です。学級担任を持つ先生が担当されているのもお気の毒な状況です。環境の整った新川小学校に専任の図書の先生が配置されれば、子ども達の「本の貸し出し」「調べ学習」が大きく、大きく進むと期待します。	1-1に同じ。	無	
50-1			・学校図書館司書の配置の推進について 各学校の図書室に司書の方が常置されると子供の調べ学習も本好きの子供も増えて良いと思います。 特に、北部中学校と新川小学校は図書室も整備されているので、司書の方と教師の連けい授業が即実現できます！	1-1に同じ。	無	
51-1			読み聞かせ活動の交流会で柏市の中学校の話しを聞く機会がありました。それは授業の中で子どもたちが自分の好きな本を5分間プレゼンし、その中で一番読んでみたい本を選ぶ「ビブリオバトル」をやっているとの事で、聞いた子どもたちも、大人が選んだ本より、同じクラスの友達を選んだ本に対して興味がわくだろうし、本が苦手な子でも、読んでみたいという気持ちになり、5分という限られた時間の中で伝えたい事をまとめる力やプレゼン力もつき、とても良い取り組みだと、思いました。ぜひ流山市の中学校でも取り入れて1人でも多くの子どもたちが本を好きになって自分の世界観を広げていってくれたら幸いです。	学校の取組の中で検討していきます。	無	
52-1			小学校高学年～中学生(～高校生)の本を充実させてほしい。	小学校高学年、中・高校生向けの図書等の収集に努めていきます。	無	
53-1			・学校図書館においても、子どもたちの年間貸出冊数の目標を決めて、取り組んでいきたいと思いました。	今計画では、学校図書館の整備に努めていきます。	無	
53-2			・本好きな子どもたちは、忙しくても、本を持ち歩き、開いた時間で読書をしているので、子どもたちがよい本にふれる機会を作ったり、本はおもしろい！と思えるようにしていったりすることが大切ではないかと思っています。	本計画の推進により、子どもたちが少しでも本に親しんでもらえるように読書活動を推進していきます。	無	